

国際教養学科 vol.17



2年基礎演習II 麓郷フィールドワーク

2年必修「基礎演習」は担当教員とゼミ学生がテーマを追究する科目です。武井ゼミでは倉本聰脚本テレビドラマ「北の国から」をテーマに、1980年代の日本・北海道と日本人の意識や北海道の変化を追究しています。10月22日に富良野麓郷を訪問し、ドラマのロケ地の今を調査しました。プラザ合意ーバブル経済ー日本のいまから、豊かさとは何か、を考えています。



<北海道国際協力フェスタ> はJICAをはじめ北海道内の国際協力ボランティア組織の活動成果発表の場です。短期学外学修カナダ留学や学科の活動をブースで発表しました。

10月21日大通地下歩行空間は秋晴れと紅葉に負けない楽しい刺激的な時間でした。



ポーランドから異文化交流講演会



バルバラ・スウォムカさんはポーランド在住日本研究者です。アイヌの言語・文化研究者ブロニスワフ・ピウスツキの評伝を翻訳した苦労やポーランドの文化、学生へのメッセージをオンラインで語ってくださいました。北海道ポーランド文化協会の方々、地域の方と異文化コミュニケーションについて考え、励ましのメッセージをいただきました。

北海道韓国語弁論大会「銀賞」に輝く

11月4日（土）に札幌韓国教育院主催第25回北海道韓国語弁論大会が北海道立近代美術館において開催されました。本学科から2年生の松村未来さんが出場し、見事銀賞に輝きました。



国際教養学科 2年 松村未来さん

テーマ 「私のオンニ（私のお姉さん）」

松村さんからのメッセージ

皆さんこんにちは、国際教養学科2年の松村未来です。私は先日開催された北海道韓国語弁論大会に出場しました。大会では、去年カナダへ留学した時に会った韓国人の友達をテーマに、韓国語で5分間のスピーチをしました。私の韓国語力はまだ人前で話ができるレベルではなかったので初めは苦戦しましたが、韓国語担当の趙先生とたくさん練習していくうちに自然な発音ができるようになり、韓国語学習のモチベーションが上がりました。この大会への出場を機に、より深く韓国語を学んでいきたいです。

